

EPSON

製品マニュアル更新情報

ビジネスプロジェクター

EB-L210SW

更新ファームウェアについて 3

ファームウェア Ver.1.10の概要	4
操作方法に関する変更 (Ver.1.10)	4
ファームウェア Ver.1.30の概要	5
メニュー項目に関する変更 (Ver.1.30)	5
ファームウェア Ver.1.50の概要	6
操作方法に関する変更 (Ver.1.50)	6
ファームウェア Ver.1.60の概要	7
操作方法に関する変更 (Ver.1.60)	7
ファームウェア Ver.1.70の概要	8
メニュー項目に関する変更 (Ver.1.70)	8
操作方法に関する変更 (Ver.1.70)	8
ファームウェア Ver.1.77の概要	9
メニュー項目に関する変更 (Ver.1.77)	9

ファームウェアの変更詳細について 10

操作方法に関する変更の詳細 (Ver.1.10)	11
デフォルトパスワードの設定	11
パスワードの設定	11
RemoteパスワードとWeb制御パスワードの設定	12
メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.1.30)	13
EPMC監視制御	13
操作方法に関する変更の詳細 (Ver.1.50)	14
Epson Projector Managementの操作変更	14
操作方法に関する変更の詳細 (Ver.1.60)	15
Miracast機能を使ったScreen Mirroringの操作変更	15
メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.1.70)	16
アクセス制御およびセカンダリ接続	16

AV同期	16
操作方法に関する変更の詳細 (Ver.1.70)	18
ブロックリスト削除アイコンをホーム画面に追加	18
メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.1.77)	19
アクセス制御およびセカンダリ接続	19

付録 20

一般のご注意	21
ご注意	21
商標について	21
著作権について	21

更新ファームウェアについて

本製品は、プロジェクターの機能やパフォーマンスの向上を図り、定期的に新しいファームウェアを提供します。本章では、各バージョンのファームウェアで更新された機能の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「ファームウェア Ver.1.10の概要」 [p.4](#)
- 「ファームウェア Ver.1.30の概要」 [p.5](#)
- 「ファームウェア Ver.1.50の概要」 [p.6](#)
- 「ファームウェア Ver.1.60の概要」 [p.7](#)
- 「ファームウェア Ver.1.70の概要」 [p.8](#)
- 「ファームウェア Ver.1.77の概要」 [p.9](#)

ファームウェア Ver.1.10での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「操作方法に関する変更 (Ver.1.10)」 [p.4](#)

操作方法に関する変更 (Ver.1.10)

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- 以下の機能を使うときのデフォルトパスワードが設定されなくなりました。
 - [パスワードプロテクト]
 - [Epson Web Control]
- 以下の機能を使うときのパスワード設定が必須になりました。
 - [シンプルAP]
 - [SNMP]
 - [PJLink]
 - [Crestron Connected]
 - [コマンド通信]
- [Remoteパスワード] と [Web制御パスワード] が設定されていない場合、初めて [ネットワーク設定] を選択したときにパスワード設定画面が表示されます。

▶ 関連項目

- 「デフォルトパスワードの設定」 [p.11](#)
- 「パスワードの設定」 [p.11](#)
- 「RemoteパスワードとWeb制御パスワードの設定」 [p.12](#)

ファームウェア Ver.1.30での変更の概要を説明します。

▶▶ **関連項目**

- 「メニュー項目に関する変更 (Ver.1.30)」 [p.5](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver.1.30)

本バージョンでは、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

- [ネットワーク] メニューに [EPMC監視制御] を追加

▶▶ **関連項目**

- 「EPMC監視制御」 [p.13](#)

ファームウェア Ver.1.50での変更の概要を説明します。

▶▶ 関連項目

- 「操作方法に関する変更 (Ver.1.50)」 [p.6](#)

操作方法に関する変更 (Ver.1.50)

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- Epson Projector Managementを使うときの注意事項が追加されました。
 - [ネットワークエラー (Web制御パスワード認証エラー)] と表示される場合の対応方法を記載しました。
 - Epson Projector Managementを使ってプロジェクターのファームウェアを更新する場合の対応方法を記載しました。

▶▶ 関連項目

- 「Epson Projector Managementの操作変更」 [p.14](#)

ファームウェア Ver.1.60での変更の概要を説明します。

▶ **関連項目**

- 「操作方法に関する変更 (Ver.1.60)」 [p.7](#)

操作方法に関する変更 (Ver.1.60)

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- Screen Mirroringでの投写中にデバイスを強制的に切断できるようになりました。

▶ **関連項目**

- 「Miracast機能を使ったScreen Mirroringの操作変更」 [p.15](#)

ファームウェア Ver.1.70での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更 (Ver.1.70)」 [p.8](#)
- 「操作方法に関する変更 (Ver.1.70)」 [p.8](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver.1.70)

本バージョンでは、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

[ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ネットワーク投写] > [Screen Mirroring]

- [割り込み接続] を削除
- [アクセス制御] を追加
- [セカンダリ接続] を追加

[ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ネットワーク投写]

- [A/V同期] を追加

▶ 関連項目

- 「アクセス制御およびセカンダリ接続」 [p.16](#)
- 「A/V同期」 [p.16](#)

操作方法に関する変更 (Ver.1.70)

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- ホーム画面に [ブロックリスト削除] アイコンが追加されました。

▶ 関連項目

- 「ブロックリスト削除アイコンをホーム画面に追加」 [p.18](#)

ファームウェア Ver.1.77での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更 (Ver.1.77)」 [p.9](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver.1.77)

本バージョンでは、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

[ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ネットワーク投写] > [Screen Mirroring]

- [アクセス制御] メニューの [オン] の表示条件を追加
- [セカンダリ接続] に設定値として [割り込み接続許可] を追加

▶ 関連項目

- 「アクセス制御およびセカンダリ接続」 [p.19](#)

ファームウェアの変更詳細について

ファームウェアの変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「操作方法に関する変更の詳細 (Ver.1.10)」 [p.11](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.1.30)」 [p.13](#)
- 「操作方法に関する変更の詳細 (Ver.1.50)」 [p.14](#)
- 「操作方法に関する変更の詳細 (Ver.1.60)」 [p.15](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.1.70)」 [p.16](#)
- 「操作方法に関する変更の詳細 (Ver.1.70)」 [p.18](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.1.77)」 [p.19](#)

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「デフォルトパスワードの設定」 p.11
- 「パスワードの設定」 p.11
- 「RemoteパスワードとWeb制御パスワードの設定」 p.12

デフォルトパスワードの設定

デフォルトのパスワードは設定されていません。以下の機能を初めて使うときは、表示されるダイアログに従ってパスワードを設定してください。

変更前のパスワード設定 (Ver.1.00)

機能	パスワード名称	デフォルトパスワード
パスワードプロテクト	パスワード	0000
Epson Web Control > ベーシックコントロール	Remoteパスワード	ユーザー名： EPSONREMOTE パスワード：プロジェクトのシリアル番号
Epson Web Control > その他の設定	Web制御パスワード	ユーザー名：EPSONWEB パスワード：プロジェクトのシリアル番号



プロジェクトのシリアル番号は、以下のいずれかの方法で確認できます。

- [管理] メニュー > [情報表示]
- [Epson Web Control] 画面



変更後のパスワード設定 (Ver.1.10)

機能	パスワード名称	デフォルトパスワード
パスワードプロテクト	パスワード	なし
Epson Web Control > ベーシックコントロール	Remoteパスワード	ユーザー名： EPSONREMOTE パスワード：なし
Epson Web Control > その他の設定	Web制御パスワード	ユーザー名：EPSONWEB パスワード：なし

パスワードの設定

新たにパスワードを設定する必要があります。以下の機能を初めて使うときは、表示されるダイアログに従ってパスワードを設定してください。

機能	パスワード名称
シンプルAP	パスフレーズ
SNMP	コミュニティ名
PJLink	PJLink/パスワード
Crestron Connected	Password
コマンド通信	Monitorパスワード



- Monitorパスワードは、Webブラウザでのみ設定できます。
- Ver.1.10に更新したあとにコマンド通信がうまくいかないときは、MonitorパスワードまたはWeb制御パスワードを設定してください。

RemoteパスワードとWeb制御パスワードの設定

[Remoteパスワード] と [Web制御パスワード] が設定されていない場合、初めて [ネットワーク設定] を選択したときにパスワード設定画面が表示されます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「EPMC監視制御」 p.13

EPMC監視制御

[ネットワーク] メニューに [EPMC監視制御] が追加されました。

変更前の [ネットワーク] メニュー (Ver. 1.10)

設定項目なし。

変更後の [ネットワーク] メニュー (Ver. 1.30)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク	EPMC監視制御	<ul style="list-style-type: none">• EPMC設定• EPMC設定書き出し• EPMC設定読み込み

[EPMC監視制御] を [オン] にして必要な設定をすると、Epson Projector Connected Agentを介さずに、Epson Projector Management Connectedクラウドサーバーと直接通信できます。詳しくは『Epson Projector Management Connected操作ガイド』をご確認ください

<https://www.projection-service.epson.com/pages/epm-connected/online-manual/web-front/JA/index.html>

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「Epson Projector Managementの操作変更」 [p.14](#)

Epson Projector Managementの操作変更

Epson Projector Managementを使うときの注意事項が追加されました。

- Epson Projector Managementに登録済みのプロジェクターの状態が [ネットワークエラー (Web制御パスワード認証エラー)] と表示される場合は、最新バージョンのEpson Projector Managementを使用してプロジェクターを再登録してください。
- Epson Projector Managementを使ってプロジェクターのファームウェアを更新する場合は、最新バージョンのEpson Projector Managementを使用してください。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「Miracast機能を使ったScreen Mirroringの操作変更」 [p.15](#)

Miracast機能を使ったScreen Mirroringの操作変更

Screen Mirroringでの投写中に、デバイスを強制的に切断できるようになりました。

投写中にリモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押します。

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ **関連項目**

- 「アクセス制御およびセカンダリ接続」 p.16
- 「A/V同期」 p.16

アクセス制御およびセカンダリ接続

[ネットワーク投写] メニューの [Screen Mirroring] の設定項目が変更されました。

変更前の [ネットワーク投写] メニュー (Ver. 1.60)

設定	設定	項目または設定値
割り込み接続	オン オフ	[オン] にすると、Screen Mirroringでの投写中に他のユーザーが投写画面を切り替えられます。 Screen Mirroring ソースを2系統使用するときは、[オフ] に設定します。

変更後の [ネットワーク投写] メニュー (Ver. 1.70)

設定	設定	項目または設定値
アクセス制御	オン オフ	[オン] にすると、投写を許可するかどうかの確認画面がScreen Mirroringで接続するたびに表示されます。

設定	設定	項目または設定値
セカンダリ接続	割り込み接続不可 オフ	Screen Mirroring 接続中に接続を試みるデバイスの接続動作を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [割り込み接続不可]: 先に接続していたデバイスからの映像が Screen Mirroring1ソースとして投写されたまま、2台目のデバイスが接続されます。入力ソースをScreen Mirroring2に切り替えると、2台目のデバイスからの映像が投写されません。同時に接続できるのは2台までです。 • [オフ]: Screen Mirroring接続中に他のデバイスは本機に接続できません。

A/V同期

[A/V同期] が追加されました。

変更前の [ネットワーク投写] メニュー (Ver. 1.50)

設定項目なし。

変更後の [ネットワーク投写] メニュー (Ver. 1.70)

設定	設定	項目または設定値
A/V同期	1 (同期優先) 2 3 4 5 6 7 (音声品質優先)	Epson iProjection で投写するとき、映像と音声の同期を優先するか、音声品質を優先するかを設定します。ネットワーク環境に応じて設定してください。 1：映像と音声の同期を優先します。 7：音声品質を優先します。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「ブロックリスト削除アイコンをホーム画面に追加」 [p.18](#)

ブロックリスト削除アイコンをホーム画面に追加

[ブロックリスト削除] アイコンがホーム画面に追加されました。

[ネットワーク投写] メニューで [アクセス制御] が [オン] に設定されているとき、どのデバイスをScreen Mirroringで接続するかを管理できます。接続しようとしているデバイスを確認画面からブロックすると、そのデバイスがブロックリストに追加されます。このアイコンで、デバイスのブロックを解除できます。

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「アクセス制御およびセカンダリ接続」 p.19

アクセス制御およびセカンダリ接続

- [アクセス制御] メニューの [オン] の表示条件が追加されました。
- [ネットワーク投写] メニューの [Screen Mirroring] > [セカンダリ接続] に設定値として [割り込み接続許可] が追加されました。

変更前の [ネットワーク投写] メニュー (Ver. 1.70)

設定	設定	項目または設定値
アクセス制御	オン オフ	[オン] に設定すると、投写を許可するかどうかの確認画面がScreen Mirroringで接続するたびに表示されます。
セカンダリ接続	割り込み接続不可 オフ	Screen Mirroring 接続中に接続を試みるデバイスの接続動作を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [割り込み接続不可]：先に接続していたデバイスからの映像がScreen Mirroring1ソースとして投写されたまま、2台目のデバイスが接続されます。入力ソースをScreen Mirroring2に切り替えると、2台目のデバイスからの映像が投写されます。同時に接続できるのは2台までです。 • [オフ]：Screen Mirroring接続中に他のデバイスは本機に接続できません。

変更後の [ネットワーク投写] メニュー (Ver. 1.77)

設定	設定	項目または設定値
アクセス制御	オン オフ	[オン] に設定すると、投写を許可するかどうかの確認画面がScreen Mirroringで接続するたびに表示されます。 [オン] は [セカンダリ接続] を [割り込み接続許可] に設定しているときは表示されません。
セカンダリ接続	割り込み接続許可 割り込み接続不可 オフ	Screen Mirroring 接続中に接続を試みるデバイスの接続動作を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [割り込み接続許可]：Screen Mirroringでの投写中に他のユーザーが投写画面を切り替えられます。[アクセス制御] が [オフ] のときに表示されます。 • [割り込み接続不可]：先に接続していたデバイスからの映像がScreen Mirroring1ソースとして投写されたまま、2台目のデバイスが接続されます。入力ソースをScreen Mirroring2に切り替えると、2台目のデバイスからの映像が投写されます。同時に接続できるのは2台までです。 • [オフ]：Screen Mirroring接続中に他のデバイスは本機に接続できません。

付録

次の点にご留意ください。

▶▶ **関連項目**

- 「一般のご注意」 [p.21](#)

次の点にご留意ください。

▶ 関連項目

- 「ご注意」 p.21
- 「商標について」 p.21
- 「著作権について」 p.21

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者（「お問い合わせ先」参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
6. エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

商標について

WindowsおよびMicrosoft Teamsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標、または登録商標です。

MacおよびmacOSは、Apple Inc.の商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェアの著作権について：本装置は当社が権利を有するソフトウェアの他にフリーソフトウェアを利用しています。

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© 2023 Seiko Epson Corporation

Rev.04 2026.01 JA